

# 第 27 西日本地区自転車競技大会

## <テクニカルガイド>



***OITA CYCLING  
FEDERATION***

## 1 会場

(1)トラック競技会場 (大会問合せは 12 その他(2)記載、別府競輪場へ連絡はしないこと)

別府競輪場 〒874-0021 大分県別府市亀川東町 1-36



## 2 日程

期日	時間	スケジュール	備考
4/27(土)	7:50~	指定練習 各班 20 分間	
	8:30~9:00	ライセンスコントロール	別府競輪場敢闘門(バックストレッチ側)
	9:00	監督会議	別府競輪場 H 側下審判室 (各チーム代表者 1 名)
	10:00	トラック競技 (1 日目)	別府競輪場
4/28(日)	9:35	トラック競技 (2 日目)	別府競輪場
	15:30	表彰式 (予定)	別府競輪場(ホームストレッチ側)

## 3 受付

(1) 選手・監督受付

2024 年有効のライセンスを持参すること。チーム毎に受付に提出すること。

ライセンス不携帯の際は、参加料 (エントリー料) の 50%相当をペナルティとして徴収する。

(2) 配付物

①大会プログラム	各チーム 6 名以上 5 部、5 名以下 3 部
②選手・監督 ID	選手 1 名につき 1 枚+引率者 1 名につき 1 枚

- (3) 選手変更・欠場申請、引率責任者・監督・チームサポート変更申請、プログラム記載事項訂正申請、その他申請については、監督会議終了後に書面で提出すること。

#### 4 監督ミーティング

令和 6 年 4 月 27 日 (土) 9:00 ~ 別府競輪場 H 側下審判室

#### 5 開会式・閉会式

開会式・閉会式は実施しない。

#### 6 表彰式

- (1) トラック競技 全レース終了後を予定しているが、密集回避の観点により本部にて手渡しのみもあり。後日案内する。  
※以下(2)(3)については、セレモニー実施の際の内容。
- (2) 表彰を受ける選手は 5 分前には集合・待機し、係の誘導を聞くこと。  
1~3 位 (賞状 6 位) まで表彰とする。  
欠席した場合、その着位は「空位」として取り扱い、セレモニーを行う。
- (3) 服装は、原則「登録されたユニフォーム」とする。

#### 7 トラック会場 (別府競輪場)

(1) 駐車場について

**第 5 駐車場(乗用車)及び第 10 駐車場(マイクロ)を利用**すること。その際、奥から順に駐車すること。

利用時間は 27 日(土) 6:30~18:00 28 日(日)6:30~17:00 とする。

選手宿舍前 (検車場) 側への駐車は、予め指定を受けた役員車両以外は厳禁とする。

(2) **荷物の積み降ろしについて (荷物を降ろしたら第 5・10 駐車場へ移動)**

4/27 (土)	6:30~ 8:30	別府競輪場選手宿舍前駐車場
4/28 (日)	14:30~16:30	別府競輪場選手宿舍前駐車場

上記の時間以外の車両の移動は制限されるので注意すること。変更がある際は、コミュニケにて案内する。

(3) 別府競輪場の施設・敷地内利用について

①大会期間中は、場外発売が行われているため、立入禁止区域には、絶対に入らないこと。

※ホームストレッチ側の特別観覧席の利用は出来ません (競輪の場外発売専用) ので関係者へ案内のこと。

②競輪場内のコンセントの使用は厳禁とする。コンプレッサー使用時の発電機の使用は認めるが注意を払うこと。

③女子の更衣については、検車場裏の旧事務所 1F シャワー室利用可(8:00~17:00)

④競輪場内に張り出すチーム応援横断幕、のぼり旗等は、2-3 コーナーのフェンス外側に限定する。観戦の妨げにならないよう配慮すること。

⑤場内に設置されているゴミ箱は使用しないこと。ゴミ等は各自各校にて持ち帰ること。

⑥屋外ローラー場の使用は認めるが**管理棟 1F にあるローラー場の利用は厳禁**とする。

⑦フィールド内でのローラーの使用は競技運営の支障をきたすおそれがあるため不可とする。

⑧喫煙は管理棟前(灰皿設置)のみとする。

⑨選手ビッドは管理棟 1F とするが区割りを行わないので関係チームで協力しながら使用すること。

(4) 自転車の保管について

自転車の保管については、検車場(管理棟 1F)を開放するが、紛失、破損、事故等の責任は負わない。

**備え付けの備品等には一切手を触れないこと。また、ごみ等も必ず持ち帰ること。自転車整備も禁止。**

(5) 指定練習について

期日	時間	グループ	備考
4/27(土)	7:50~8:10	指定練習 1班	大分、福岡、佐賀
	8:15~8:35	指定練習 2班	長崎、熊本、山口
	8:40~9:00	指定練習 3班	宮崎、鹿児島、愛媛
	9:05~9:25	指定練習 4班	女子

①チーム関係者が選手の安全管理に責任をもって行うこと。

②入退場については、バック側に限定する。役員の指示に従って移動し、**走路に入る際はアップシューズとする。**

(6) 接触・落車等による機材の破損については、レース中の事故と同じ扱いとし、**主催者は賠償等の責任を負わない。**

## 8 IDカード

今大会に参加する役員、選手ほか関係者は、常時 ID カードを身に付けなければならない。選手宿舎前より規制エリアとする。大会終了時に返却をすること。



## 9 宿泊・弁当 関係

- (1) 貴重品管理は各チーム（各自）の責任とする。
- (2) 宿舎内の備品・器物の破損や紛失がないよう、十分注意すること。宿舎から注意事項がある際は遵守のこと。
- (3) 宿舎内は、レーサーシューズでの歩行は禁止する。
- (4) ホテル内では常に整理整頓を心掛け、自転車整備や、部屋への自転車の持ち込みは禁止する。
- (5) 宿泊施設により、駐車場代が発生する場合がある。
- (6) 変更等がある際は、エージェントに必ず連絡すること。大会期間中は、大会本部へ変更内容を連絡すること。
- (7) 弁当配布について 11:00～ 屋外ローラー場前

## 11 交通規則の遵守について

所在地から会場への移動、宿舎と会場間の往復等は、常に交通規則を遵守するとともに、ロードバイクで移動する際は、必ずヘルメットを着用すること。監督、チーム関係者は責任を持って指導すること

## 12 その他

- (1) 今大会は観客制限を設けない。但し、場外発売があるので一般のお客様と同様の入場となります。また、**別府競輪場の開場は 9:30** 以降となるので注意すること。
- (2) 大会についての問い合わせ先  
大会前：西日本地区自転車競技大会実行委員会 橋本文一 0977-72-2855 (日出総合高校)  
期間中：問合せ者 → 各チーム代表者 → 実行委員会(橋本)の系統とする。

## ■ 大会特別規則 <共通事項>

### 1 大会名 第27回西日本地区自転車競技大会

JCF 競技規則及び UCI 競技規則最新版、実施要項、および本大会特別規則により実施する。本大会の特別規則は「西日本地区自転車競技大会」のための特別規則であり、他の競技大会に適用されたり、先例となるものではない。

### 2 競技日程

2024年4月27日（土）より、2日間のトラックレースする。

### 3 大会本部

別府競輪場メインスタンド 1F 下審判室

### 4 コミッセル・パネル

総務委員長	井上 徹	大分県自転車競技連盟	事務局長
競技運営委員長	橋本 文一	大分県自転車競技連盟	常務理事
審判長	遠江 高一	大分県自転車競技連盟	理事

### 5 参加資格

実施要項 ※以下、実施要項 4 参加資格、6 参加制限による。

### 6 参加申込

実施要項 9 参加申込による。

### 7 競技者（監督）受付・登録

実施要項、競技日程の時間内に、ライセンスコントロールを受けること。2024年有効のライセンスの提示した後、IDカードを配布する。なお、チーム毎に受付に提出すること。

ライセンス不携帯の際は、参加料（エントリー料）の50%相当をペナルティとして徴収する。

### 8 実施種目

実施要項 5 実施種目に準ずる。

### 9 使用機材

公益財団法人日本自転車競技連盟競技規則及び UCI 競技規則最新版に準ずる。

#### ① ヘルメット

JCF 公認ヘルメット、もしくは JKA 認定品（競輪用）とする。エアロヘルメットは TT 系種目のみ使用可能（競走系種目、練習では使用不可）破損、ひび割れ、公認シールのないものは使用できない。

トラックの競走系種目で使用するヘルメットは NO キャップが装着できるヘルメットとする。

#### ② 自転車

チーム（競技者・監督・メカニシャン）の責任で競技規則 規定内に調整の上、参加のこと。

競技規則の例外適用（身体形態上の理由）の申請は、トラック競技 1 日目の競技開始 1 時間前までとする。

申請は、競技者が使用する自転車と共に審判長まで申し出ること。（書類は不要）

ギア比：中学生は、競技規則のある U17 推奨値を上限とする。

### 10 ユニフォーム（ジャージ・パンツ）

所属するチームの登録されたユニフォームを着用すること。高体連に加盟のチームは、登録されたユニフォームを着用すること。県対抗で実施する種目（特に団体種目）については、登録された県のユニフォームの着用を原則とする。やむを得ず、登録外ユニフォームを着用する際は、監督会議で承認を受けること。

### 11 賞典

実施要項 7 表彰により行う。競技規則第 26 章

表彰対象者は、登録ユニフォームで出席すること。

### 12 救急措置（医務救護体制）

競技中の負傷疾病について、現場における応急措置を用意するが、以後の措置については参加者自身の責任によって行うこと。

大会本部に医務・救護所を設置する。参加者は健康保険証を必ず持参すること。

参加者は各自でスポーツ安全協会等の保険に加入すること。

近隣医療機関	別府医療センター	〒874-0011 大分県別府市内電 1473 番地 TEL : 0977-67-1111
--------	----------	--

### 1.3 招集

バンク入り口付近に設ける。各競技者の出走予定時刻 15 分前までとする。

### 1.4 大会アナウンス（コミュニケの配布・配信）

大会進行は、アナウンスにより行う。また、コミュニケ等の配信については、紙媒体での配布は行わず、連盟 X にておこなう。



### 1.5 個人情報の取り扱い

選手、応援者及び競技役員等の大会参加者の個人情報（画像、映像、音声データ等）については、本大会に帰属するとともに、大会の普及活動に利用する以外の目的に利用することはない。

## ■ 大会特別規則 <トラックレース>

### TR1 全般

競技規則 第 6 3 条、第 6 6 条 9～1 5 項を熟読し遵守すること。

### TR2 1km タイムトライアル

400m のトラック 2.5 周で行う。

スタートはホーム、バックストレッチの中央線から 2 選手同時発送で行う。

スタートにはスターティング・マシンを使用する。

スターティング・マシンに自転車セット、準備完了後 30 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

ホーム、バック同時スタートにて実施（プログラムに記載の、スタート/フィニッシュ位置を確認のこと）

フライングがあった選手のみ次の組で再発送、該当しない選手はそのまま続行とする。2 回目は失格とする。

### TR3 500m タイムトライアル

400m のトラック 1 + 1/4 周で行う。

スタートはバックストレッチの中央線から単独発送で行い、フィニッシュは 2Ce（3-4 コーナー間）。

スタートにはスターティング・マシンを使用する。

スターティング・マシンに自転車セット、準備完了後 30 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転車のセット等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。

フライングがあった際は直ちに再発送、2 回目は失格とする。

### TR4 インディヴィデュアル・パーシュート（2km）

400m のトラック 5 周で行う。

スタートはホーム、バックストレッチの中央線から行う。

スタートにはスターティング・マシンを使用する。

スターティング・マシンに自転車セット、準備完了後 30 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転

車のセッ等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。  
予選上位による決勝、決定戦は実施せず、記録をノードし順位決定する。

## TR5 スプリント

予選 200m フライング・タイムトライアルは手動計時とする。  
予選 200m フライング・タイムトライアルは 2 周 800m を走行するうちの最後の 200m を計測する。  
スタートはブルーバンドより、前競技者が 1 周回通過後に次走選手がスタートする。  
予選上位 16 名による 1/8 決勝からトーナメントを開始する。  
予選 → 1/8 決勝 (1 回戦) → 1/4 決勝 (1 回戦) → 1/2 決勝 (1 回戦) → 3-4 位決定戦 / 決勝 / 5-8 位決定戦。  
順位決定戦から 3 回戦とする。

## TR6 チーム・パーシュート

スタートはホーム、バックストレッチの中央線から行う。  
ホルダーは各チームで対応。(不足時は競技役員で対応)  
スタートにはスターティング・マシンを使用する。  
スターティング・マシンに自転車セット、準備完了後 30 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転車のセッ等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。  
予選上位による決勝、決定戦は実施せず、記録をノードし順位決定する。

## TR7 チームスプリント

スタートはホーム、バックストレッチの中央線から行う。  
ホルダーは各チームで対応。(不足時は競技役員で対応)  
スタートにはスターティング・マシンを使用する。  
スターティング・マシンに自転車セット、準備完了後 30 秒 カウントダウンにてスタートする。監督、コーチ、チームスタッフは、自転車のセッ等、スタート準備のサポートを行い、速やかなスタートに協力すること。  
予選上位による決勝、決定戦は実施せず、記録をノードし順位決定する。

## TR8 ポイント・レース

予選 12km、決勝 24km にて行う。ポイント周回は 5 周毎とする。今大会、予選 2 組で上位 8 名が決勝へ進出。  
奇数番号はインレーン、偶数番号はアウトレーンからの発送とし、ホルダーは各チームからの対応とする。  
ニュートラベーションは 3 周回 (1,300m 近い距離) とする。  
ニュートラベーションの復帰が最後の 1km 以内となり競技に出来ない時、または最終 5 周回以内の認められた事故のとき、所属していた集団の最後尾にフィニッシュしたと認定する。  
最終ポイントは倍点 (10 点、6 点、4 点、2 点)  
周回ラップ：追いつき時：+ 20 点、追いつかれ時：- 20 点 (メロ集団を基準)  
除外：周回遅れで、競走に支障がある時 (入賞の可能性がない等含む) (ハレースより除外する。  
スタート位置は、スプリンタレーンにヘルメットキャップ奇数番号、走路外側にヘルメットキャップ偶数番号とする。1 番キャップ以外は先着順とし、ホルダーは同チームの監督・チームスタッフにて (不足する際は競技役員) 行う。  
番号付きヘルメット・カバーを使用する。

## TR9 ケイリン

1 回戦 → 1 回戦敗者復活戦 → 2 回戦 → 準決勝 → 順位決定戦  
1 回戦 → 上位 2 名が 2 回戦、敗者復活戦 → 1 名が 2 回戦、2 回戦 → 上位 3 名が準決勝、準決勝 → 上位 3 名が決勝  
下位 3 名が 7-12 位決定戦。

400mのトラック4周回で実施する。

スタートにおいて競技者はペーサーの直後で抽選によって決定された位置を取り、スタート後少なくとも最初の周はペーサーの後ろにつかなければならない。すみやかに追走しない際は、その競技者を除外し、再スタートする。

ペーサーはスプリンター・ラインの内側を走り、スタート時は 30 km/h、フィニッシュ 2.0 周前の測定線（200m）を過ぎてトラックを離れるまでに、徐々に 50 km/h まで加速する。

ペーサーは残り 600m 付近で離脱する。

一人または、複数の競技者が、ペーサーが中央線においてトラックを離れる前にペーサーの前輪前端を追い抜いた場合、競技を停止し、失格とされる違反競技者を除外して再スタートとする。

競走中に全競技者が落車等事故の際は救済措置により再スタートとする。

スタート後 半周以内の事故が発生したとき、再スタートとするが、半周以降の事故は再レースとはならない。事故の内容により制裁の対象となる。

コンタクトプレー等（第 71 条 8 項 順守違反）については、厳しい態度と裁定で対応する。

ホルダーについては、同チームの監督・チームスタッフにて（不足する際は競技役員）行う。

## TR10 スクラッチレース

予選 3 組：6km(15 周回) 決勝：8km (20 周) 女子：6km (15 周回) で実施する。

周回遅れでメイン集団に追付かれた競技者は除外とする。

先頭の競技者を基準とし、周回数が同一のとき最後のスプリント着順で順位を決定する。

ニュートラペーションは 3 周回（1,300m 近い距離）、最後の 1km は競技に戻ることは出来ない。

最後の 1km で競技に戻れないときは、所属していた集団の最後尾にフィニッシュたと認定する。

スタート位置は、スプリンターレーンにヘルメットキャップ奇数番号、走路外側にヘルメットキャップ偶数番号とする。1 番キャップ以外は先着順とし、ホルダーは同チームの監督・チームスタッフにて（不足する際は競技役員）行う。

番号付きヘルメット・カバーを使用する。

## TR11 4km 速度競走

競走距離：4km ラウンド：予選 3 組で実施し上位 4 名が決勝進出とする。

先頭責任数不足で合計が同数のとき、H/B 均等取得者を優位とする。

ホルダーは同チームの監督・チームスタッフにて（不足する際は競技役員）行う